

## 新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる登山者への注意喚起等について

これからの夏山シーズンに向けて、本県においても登山をする方が増えてくると見込まれますが、登山中に新型コロナウイルスが発症した場合、登山者自身の重症化や山小屋における感染拡大のおそれとともに、その後の救助活動等に支障がでるおそれがあることから、登山者に対し、登山にあたっての注意喚起を行います。

### 1 登山にあたって想定されるリスク

- ・新型コロナウイルスは、感染から発症するまでの潜伏期間が比較的長く、入山時には発症していなくても、その後に発症する場合があります。
- ・感染の疑いのある人が遭難した場合、救助にあたる救助隊員は、十分な防疫対策を整えたうえで救助活動に当たるので、通常より時間がかかる場合もある。
- ・救助された人が感染していると判明した場合、その後の救助活動や救助のためのヘリの運用に支障をきたすおそれがある。
- ・山小屋は休業しているところが多く、万一の場合の避難先として利用することができない場合がある。

### 2 登山者への呼びかけ

- ・別添の内容を県ホームページで公開
- ・別添チラシを立山駅等で配布するとともに、山小屋と連携した情報発信、登山指導員や入山指導員、県警山岳警備隊による安全指導等を通じた周知を実施
- ・県外の方には、山小屋と連携して情報発信するとともに、日本山岳ガイド協会等と連携した周知を実施
- ・隣県の長野県、岐阜県との連携による周知の実施 等

### 3 山小屋での感染拡大防止対策の徹底

- ・5月26日付けで、各山小屋に対し、感染防止対策を講じるよう依頼するとともに、山小屋関係団体に対しては、事業者団体による感染拡大防止のガイドラインの作成を要請

(作成にあたっての主なポイント)

- ・対人距離は2m(最低1m)を目安。受付ではアクリル板の設置、寝室ではパーテーションを設置するなど、飛沫・接触の防止
- ・宿泊は事前予約を原則とし、従来の定員の半数程度を目安
- ・換気を徹底し、空気清浄機の利用を推奨 等

※国の基本的対処方針において、都道府県をまたぐ往来を控えることとされていることにもご留意ください。

## 登山者の皆様へ富山県からのお願い

～新型コロナウイルスに打ち克つために～

現在、富山県をはじめ全国において、新型コロナウイルス感染症に関する「緊急事態宣言」は解除されていますが、感染拡大防止には、皆さん一人ひとりの意識と取り組みが大切です。

富山県民の皆様や全国にお住まいの富山の山を愛する皆様には、ご自身の安全の確保のためにも、登山の際には、次の点に十分留意してください。

○登山前には体温測定など、体調を確認し、せき、発熱等の症状があるなど体調不良の場合は、登山を控えてください。また、入山中も検温を継続するなど、体調管理に努めてください。

○新型コロナウイルスは、感染から発症するまでの潜伏期間が比較的長く、入山時には元気であっても、その後に発症する可能性があります。高所では、血液中に酸素を取り込みにくいことなどから、感染症を悪化させるリスクがあります。

○感染の疑いのある人が遭難した場合、救助にあたる救助隊員は、十分な防疫体策を整えたうえで救助活動に当たるので、通常より時間がかかる場合があります。また、救助された人が感染していると判明した場合、その後の救助活動や救助のためのヘリの運用に支障がでる可能性があります。

○富山県では、例年6月から順次山開きとなりますが、今年は、山小屋は営業を休止しているところもある（7月以降の営業開始のところが多い）ので、事前に確認が必要です。日程に余裕を持ち、体力や技術に見合った無理のない登山を心掛けてください。

○山小屋には、感染防止対策を徹底するようお願いしていますが、ウイルスに対処するための体制が十分整っているとは言えません。山小屋やキャンプ場でのマスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、人と人との距離の確保など、それぞれのルールに従い、各自でできる感染防止対策の取り組みをお願いします。

多くの皆様に、富山県の豊かな自然を体感してもらいながら、安心・安全に登山を楽しんでいただくため、皆様のご理解とご協力をお願いします。